

デジタルサイネージ ジャパン 2014 出展製品のご案内

今回の出展のキーワードは、
“1台によるシステム完成” “NTSC から高精細 4K、8K への情報表示”

「皆様のご来場をブースにて心からお待ちしております。」

メディアインテグレーター

MI-2100



“周辺機器を大幅に低減”

入力時に I/F 変換、FS 対応、SC 対応を行い、出力時に I/F 変換、SC 対応により出力します。今まで必要であった周辺機材が不要となり、実装スペース、ラック内配線、消費電力が格段に少なくなります

- 入出力総計で 68 チャンネルのデジタルマトリックススイッチャ
- 入力は DVI(HDCP 対応)、3G/HD-/SDI、VGA/ コンポーネント、コンポジットから選択
- 最大解像度 2048 × 1200 まで対応
- デジタルやアナログ音声に対応
- 入力映像プレビューが可能

4K 対応液晶モニター

DM-3409-A DM-3432



“綺麗をそのままに表現”

没入感を感じることが出来、あたかもその場所にいるような擬似体験が得られます。

- DM-3409-A は、4K 信号波形確認用の機能付きです (ウェーブフォームベクトルスコップ、ヒストグラム、等)
- 対応インターフェース
DM-3409-A は、3G-SDI に対応
DM-3432 は、DVI-D、デュアル DVI、及び 3G-/HD-SDI に対応
- マルチカラースペース対応 (YPBPR、RGB、XYZ)
- ユニフォーミティ回路搭載で液晶パネルの輝度ムラを低減

4K ポータブル SSD レコーダー

HR-7510



“キヤノン社製 CINEMA EOS C500 に対応”

非圧縮収録・リアルタイム RAW 現像で 4K モニタリングを実現。

- 4K × 2K RAW 60p / 4K × 1K Half RAW 120p
- 2K RGB4:4:4 12bit 60p / 2K YCBCR 4:2:2 120p
- リアルタイム RAW 現像
撮影中の映像をリアルタイム RAW 現像でモニタリングできます。
- データ転送
ファイルベースワークフローで最も気になるデータ転送を高速化しました。

8K/4K SSD ビデオレコーダー

HR-7512-C



“4 台同期運転で 8K に対応”

簡単録画、簡単再生、短時間表示、を提供します

- 入出力の I/F は SDI (3G 対応)、または DVI から選択 (発注時指定)
- ストレージデバイスとして SSD (Solid State Drive) を採用
- フルスペック 4K 映像信号を非圧縮で録画・再生が可能
- eSATA ボードで PC と接続し、ファイルでの映像読み出し・書き込みが可能
- 電源起動後 10 秒以内で再生が可能

4K プレーヤー



※モニターは含みません

“4K サイネージプレーヤーとして活用”

4K 非圧縮映像出力に対応した PC ベースの動画再生装置

- 3G-SDI/HD-SDI 出力
- 外部 ref 信号に GENLOCK 可能
- 様々な画像ファイル (DPX、TGA、BMP、等) を独自形式に変換して再生
- 再生時間 20 秒と 20 分の選択可能

4K インターフェースコンバーター

SD-7070



“究極な究極の変換コンバーター”

入力インターフェースの 3G/HD-SDI と HDMI を出力 インターフェースの 3G/HD-SDI と HDMI、DisplayPort に変換可能な装置です。

- RGB から YCBCR などのフォーマットと変換が可能
- 24fps から 60fps などのフレームレート変換が可能
- HD→4K、4K→HD などの UP、Down コンが可能
- 田の字や短冊などの分割変換が可能